

授業科目名	ペーパーレス時代の紙の価値を探る	科目コード	HH49	配当年次	1	単位	2
担当教員	嶋田 淑之						
<b>科目の概要</b>							
<p>20世紀末以降、世界的な情報通信技術の発展に伴い、読み書きのためのメディアも紙から電子メディアへと急速に切り替わっている。「ペーパーレス時代」と呼ばれるゆえんである。</p> <p>しかし、何もかもが電子メディアに置き換わっていくことが本当によいのだろうか？ 本科目は、数々の調査・実験を通じて、紙と電子メディアのパフォーマンス（スピードや正確さ）を比較し、それぞれの特性と差異を客観的・定量的に明らかにする。それを通じて、ビジネスシーンなど現実の社会生活において紙と電子メディアをどのように使い分けることが望ましいのかを学ぶ。</p>							
<b>科目の到達目標</b>							
<p>①各種調査・実験などを通じて得られる個々の知見（紙と電子メディアの各種特性・差異）について理解し、説明することができる。</p> <p>②現実世界において、紙と電子メディアをどのように使い分けていくべきか、論理的・客観的に理解し、自らそれを実践することができる。</p>							
テキスト	『ペーパーレス時代の紙の価値を知る』柴田 博仁 他, 産業能率大学出版部, 2018年						
<b>テキストの読み方</b>							
<p>①「紙の方が良い」とか「電子メディアの方が良い」など、誰もが自分なりの価値観を有していると思われるが、テキストが提示している数々の知見は客観的な調査や実証実験の結果である。したがって、個々の結果をフラットな視点で捉えることが重要。</p> <p>②それを重ねていく中で、紙のメディアならではの読みやすさが、実は「操作性」に依拠していることを理解していただきたい。そして、それを通じて、紙と電子メディアを現実世界でどう使い分けることがより生産的なのか、自分なりに明確化していくことが望まれる。</p>							
<b>単位修得の方法</b>							
<p>レポート課題を提出し、60点以上であれば合格となり、科目修得試験を受験できる。科目修得試験の得点が60点以上であれば合格となり、評価が確定し、2単位を修得できる。</p>							